

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	友だちいっぱいきらきら蛙 (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日	～	令和7年 4月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日	～	令和7年 4月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が主体となり、学校とは異なる団体生活、個々に合わせた居場所づくりを構築することで、楽しみをもって、児童の意思により利用を望んでいること	長期休暇や休業日の外出企画ではカラオケやボーリング、トラムボリンハウス等、子供達の好きな事をプログラムに取り込む事で児童の居場所となっている	外出企画以外にも平日の活動、みんなが楽しめるようなプログラム内容を構築して5領域と組み合わせながら提供できるように検討していきます
2	児童発達支援と放課後等デイサービスの多機能型施設の強みを活かした縦割り社会となり、年長のお兄さん、お姉さんが、自然と小さな子供の面倒をみてくれる事で相互の成長が見込め生きていく為の必要な力を身に付ける事ができます	様々の特性の児童と一緒に過ごす事でトラブルやケンカも置きますが、その経験が後のコミュニケーションに役に立ち、児童の発達に繋がるように職員が促しています	年齢や性別、障害種別を問わず、様々な児童達が関わりが持てるような、環境づくり、居場所づくりを構築していきます
3	SNSを活用、ライン等で個々の職員との気軽な連絡のやり取りや相談ができて、職員内のグループラインとの併用で情報の共有、下校時間の変更やキャンセル、急遽のご利用など迅速な対応ができる	ご両親との連絡が気軽に取れるように、契約時に連絡を取り合えるように意思の確認を行います。また、提供中の児童の様子が見える写真を送り、楽しみながら連絡を取り合えるようにしています	職員内でのグループラインの活用では非常勤職員でも気軽に参加しながら、情報の共有がとれるようにしていきたい。特定の職員だけの連携にとどまらず常勤、非常勤を問わず、コミュニケーションがとれる環境づくりにも取り組んでいきます

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられていない	父母様のご都合の調整の難しさが問題で、近年は開催できていない	保護者様のご要望を確認して、必要に応じて父母の会、保護者会の開催に向けて前向きに検討していきます
2	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)を日常の業務に取り込めていない	業務改善を進めるためのPDCA サイクルに対する意識の薄さ、重要性の理解が不十分なのが現状です	研修を通して、業務改善を進める為のPDCA サイクルを深め、職員で共有し日常の業務に取り込めるように検討していきます
3	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげることができていない	第三者評価に対する意識の薄さ、重要性の理解が不十分の為、外部評価を行っていない	研修や会議を通して知識を深め、必要経費の確保も含めて検討していきます

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 友だちいっぱいきらきら蛙 (児童発達支援)

公表日 令和 7 年 4 月 15 日

利用児童数

1名

回収数

1名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1					
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		友だちいっぱいきらきら蛙 (児童発達支援) 8人中 回答 6人		公表日		令和 7 年 4 月 15 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		指定のスペースを確保しています 2部屋あり、必要に応じて使い分けができるようになっています		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		配置数がギリギリにならないよう余裕を持ったシフト作りに心掛けています		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		室内はバリアフリーで、必要に応じて手摺りを設置し、障害の特性に応じた環境づくりをしています	玄関に入る際に、段差があり、現状ではスロープにする計画はありませんが、室内の環境で不具合があれば迅速に改善します	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		季節に合わせた飾りづけを取り入れ、常に清潔な空間を保っています	毎日使うトイレは特に綺麗に清掃をして清潔を保っています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		使っていない部屋など積極的に使用する柔軟な対応をしています		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	5		PDCAサイクルを業務に取り込むことができている、研修を機会に知識を深めていきます	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年に一度の保護者様向けアンケートを実施し、意見を把握し業務改善を行っています		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		不定期に職員の意見を聞きながら、共有して業務改善に繋げています		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		第三者による外部評価を取り入れていない、現在の所、今後導入する予定はありません	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	3	助成金の活用をしながら資格取得の支援を行っています	意欲のある職員には研修の情報を共有しています	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		HPで支援プログラムが誰でも見れるようになっています		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		個々の成長に合わせた支援プログラムの提供に心掛けています		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員間で意見交換を交えて支援計画を作成し、個々にあわせた支援を行っています		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	3	職員間で支援計画を共有し、個々にあわせた支援を行っています		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		こどもの日々の記録をとり、アセスメントを行っています		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		本人支援、家族支援、移行支援 及び地域支援・地域連携の支援内容を支援計画書に導入しています		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員同士で話し合い、必要に応じて子供達の意見を参考にしながらプログラムの作成を行っています		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		季節を感じて楽しみながら全員参加ができるようなプログラムを取り入れています	ボーリングやカラオケ、釣り等、子供達が好きな事もプログラムに取り組み、活動を充実させています	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		こどもの状況や必要に応じて個別対応による活動も行います また集団活動に参加し易い支援計画を作成、支援を行っています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	4	概ねの活動内容にあわせて分担しての準備、送迎、おやつ配りなど役割分担をしてチームで支援を行っています	必要な注意事項や送迎の時間確認を行い、業務によるミスが発生しないように気を付けています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4	支援開始時間や出勤曜日にばらつきがある為、適宜必要に応じた申し送りを行っています	送迎により支援終了する時間が異なる場合があり、特定の職員との共有に偏ってしまうことがある。全員に共有できるよう目指します
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎日の支援の中で、個々に応じて支援記録を取り、検証、改善に繋げています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的なモニタリングを行い、支援計画の見直しをしています	こどもの意見にも耳を傾けて支援計画の作成に配慮します
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2	相談支援事業所とは密に情報の共有を行っています	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	児童の送迎時等に教育機関との連携を大切にしてい、情報の共有を行っています	サービス担当者会議や地域の福祉サービスとの関りが遠のいてしまっている
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	児童の送迎時に保育所や幼稚園との情報の共有を行っています	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4		児童発達支援のご依頼が少なくケースが乏しい
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	5		主に送迎時に保護者と情報の共有を行っています またライン等のSNSを活用する事で下校時間等、共有の幅が広くなりました
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		児童館を利用する機会を増やす事で、地域の中で活動する機会を設けています	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		主に送迎時に保護者と情報の共有を行っています またライン等のSNSを活用する事で下校時間等、共有の幅が広くなりました	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		家族支援における研修の機会や情報の提供を行っていません	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時には必ず運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っています	利用者負担表を作成し、契約時にお渡しし料金を明確にしています
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて計画書を作成しています	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		保護者から児童発達支援計画の同意を得ながら支援を行っています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		必要に応じて、子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っています	

保 護 者 へ の 説 明 等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		保護者会の開催、又は保護者同士で交流する機会を提供できていないため、保護者交流会を行いたい
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し迅速に対応しています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		年に一度、通信を発行、HPやSNS等を活用し、行事予定の情報を子どもや保護者に対して発信しています	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の取扱いに十分留意しています。また職員で共通の認識があります	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしています	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	年に一度のお餅つきは、地域との交流をしながら活動しています	
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	5	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定しているが、家族等への周知に対応できていない	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2	業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練と計画の見直しを行っています	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		服薬やてんかん発作は契約時のヒヤリングで把握し、職員への共有をしています	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		食物アレルギーは契約時のヒヤリングで把握し、職員への共有をしています	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を組織内で共有しているが、全職員または家族等への周知が不十分で今後の課題	安全計画を組織内で共有しているが、全職員または家族等への周知が不十分で今後の課題
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	安全計画を組織内で共有しているが、全職員または家族等への周知が不十分で今後の課題	安全計画を組織内で共有しているが、全職員または家族等への周知が不十分で今後の課題
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	4		ヒヤリハットは書式はあるがあまり、活用ができていない
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		法人内で身体拘束虐待防止委員会を設置して年一度の研修と会議を行い、適切な対応に努めています		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2	法人内で身体拘束虐待防止委員会を設置して年一度の研修と会議を行い、適切な対応に努めています		